



寄贈した椅子に座る園児と微笑む八木組合長（中央）ら。

木製品に親しむきっかけになれば

■木製椅子寄贈／相良建築大工組合

木製品に触れ合う機会を提供している相良建築大工組合（八木功組合長）は3月15日、相良幼稚園・保育園に手作り椅子各15個を寄贈しました。相良幼稚園を訪れた八木組合長は「日本の木を使っています。温かみがあり丈夫に作ったので、長く使ってください」と園児に笑顔で話しました。園児らは組合員に感謝の歌を披露し、お礼の言葉を伝えました。同園では、3月16日の卒園式で早速使用。式は木のぬくもりに包まれた温かなものになりました。

親子で作ったコサージュで卒業を

■親子体験活動／地頭方小学校

地頭方小学校親子体験活動は3月7日、同校多目的ホールで行われ、6年生と保護者はコサージュ作りをしました。先生から作り方の説明を受けた児童や保護者は、ピンクや白の花にリボンなどを装飾。コサージュ作りは、親子活動の一環として5年前から行われ、制作したものは卒業式で胸に飾ります。児童からは「難しかった」「きれいにできて嬉しかった」、保護者からは「卒業式が待ち遠しい」などの感想が聞かれました。



一緒に作ったコサージュを笑顔で見せ合う親子。

ことしは4事業所が認証を取得

■エコアクション21認証・登録証伝達式

エコアクション21認証・登録証伝達式は3月24日、榛原庁舎で行われ、ことしは市内4事業所が認証を受けました。

エコアクション21は、環境負荷を効果的・効率的に削減するための環境経営システム。認証を受けた事業所は環境への取り組みに関する目標を立てて行動します。そして結果を取りまとめて評価・報告をすることが義務付けられます。

認証事業所 ▶第一化成㈱▶榊南自動車学校
▶ミクニパーテック㈱▶南和敬総合事務所



今回、新たに認証を受けた4事業所の皆さん。



一足お先にハウスで栽培された茶を手摘みする参加者。

新たな新茶ファンを拡大へ

■牧之原新茶まつり

茶生産者でつくる「ティーファーム牧之原」と市茶業振興協議会、JAハイナンは3月20日、JAハイナン茶業センター茶ぐりんなどで牧之原新茶まつりを開催しました。

会場では、新芽の手摘みや手もみ体験などが行われ、多くの人が参加しました。また、新茶と採れたての茶葉を使った料理が振る舞われ、参加者は味や香りを楽しみました。

このほか会場では、東日本大震災の募金箱も設けられ、多くの善意が寄せられました。



喜びを市長に報告する認証者。左から荒畑園、JAハイナン、ヤマセン。

市内から茶商品3点が認証

■しずおか食セレクション

多彩で高品質な静岡県の農林水産物や加工食品の中から、県独自の認定基準に基づいて厳選する「しずおか食セレクション」は、「富士山の日」である2月23日に公表されました。

このセレクションには33商品の申請があり、そのうち20商品が認定。市内からJAハイナンの静岡牧之原茶「望」、荒畑園の国産ダイエットプーアル茶「茶流瘦々」、有限会社ヤマセンの牧之原産のべにふうきを使用した国産ウーロン茶「花いろ烏龍茶」が選ばれました。

3月1日、認定された茶業3団体は市長に喜びを報告。これを契機に、若い女性といった新しい客層の開拓やお茶の消費拡大に向けて、新たな決意などを述べました。

信頼される看護師に成長して

■静岡県中部看護専門学校卒業式

静岡県中部看護専門学校卒業式は3月5日、同校講堂で執り行われました。

式で原宏介校長は「親しまれ、信頼される看護師になれるよう大きく成長してほしい」と卒業生の将来を期待するはなむけの言葉を送りました。

卒業したのは37人。このうち村越美紀さん（島田市）と三輪亜希恵さん（吉田町）が榛原総合病院へ就職。村越さんは「患者さんに寄り添える看護師になりたい」と看護の道への抱負を語ってくれました。



今までの感謝と看護の道への決意を答辞に込める卒業生代表。



会開催のお礼に歌を歌う卒園を控えた5歳児。

いつまでも保育園を忘れないよ

■お別れ会／静波保育園

静波保育園のお別れ会は3月3日、同園ホールで開かれました。

このお別れ会は5歳児の卒園に併せて行われ、「遊んでくれてありがとう」と感謝を込めた在園児からの遊戯が贈られました。4歳児が司会進行を務め、0歳児から先生まで順番に劇を披露し、会を盛り上げました。5歳児らは一緒に手を叩いたり、体を動かしたりして遊戯を楽しみ、そのお礼に歌でお返しをしました。

市内では398人がこの春、新1年生になります。



広報担当がどこにも取材に行きます。あなたの身近なホットで楽しい話題やイベントなどの情報をお待ちしています。

秘書広報課 ☎230052 ✉ seisaku@city.makinohara.shizuoka.jp